

USD / JPY (7/23) +1σで上昇限定、ボリンジャー横ばいで方向感乏しい



コメント

先週の値動き＝先週終値とほぼ同様。週末にかけ下落。行って来いの展開。

今週の指標＝金曜日の日CPIが最大の注目。その他米指標も多い。

テクニカル＝一時117.86円を示現するも、終値は116.16円と行って来いの展開。

ドル堅調も、ボリンジャー+1σ水準で上値を止められた。今年に入ってから、同水準で上値が重い。

上ヒゲが長く円高に触れる可能性もあるが、ボリンジャーの横ばいが示すように、中期的には方向感に乏しい展開が予想される。

テクニカル・レート

+1σ = 118.13円
 26週移動平均 = 115.68円
 -2σ = 113.24円

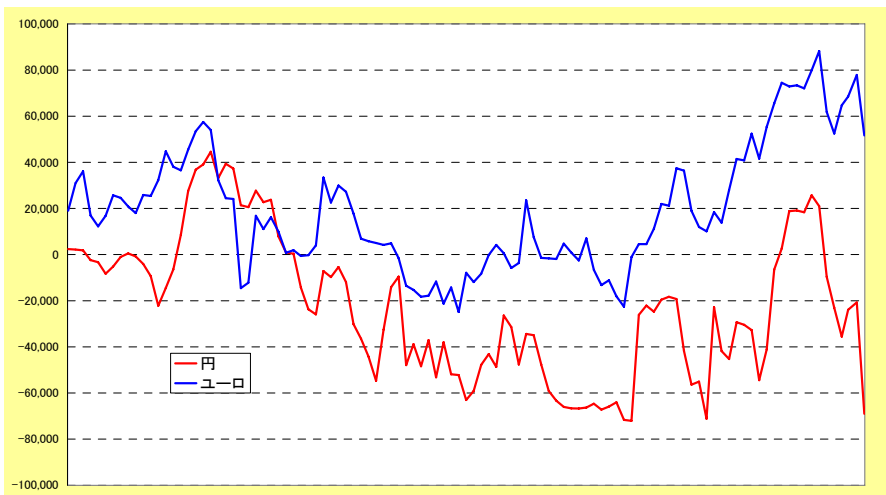
先週始値 = 116.17円
 先週高値 = 117.86円
 先週安値 = 115.81円
 先週終値 = 116.16円

【投資のポイント】

長期的な方向感に乏しい中、サクサクと変動益を取る方針が高収益となりやすそうだ。

一方、長期投資の方はまだ移動平均を割っていないのだから、慌てず。

円▲6万枚水準から反発、イーバンク銀行の利息は割高の0.2%に

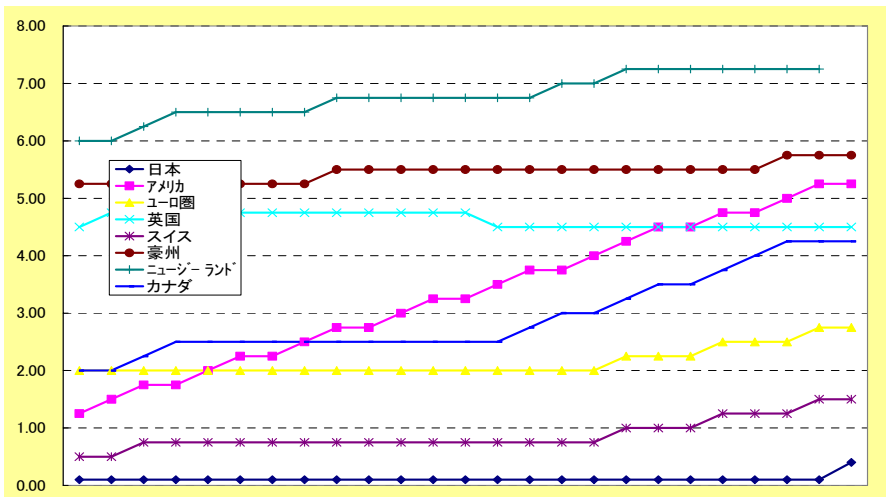


IMM投機筋ポジション動向

7月18日までの状況では、シカゴIMM投資筋の円の売り持ちは約▲6.9万枚。先週より約4.9万枚拡大した。18日の終値は117.32円。直近7月21日の終値は116.16円。縮小か。

一方、ユーロの買い越しは先週より約2.6万枚縮小し、約5.2万枚。18日が1.2498ドル。21日が1.2694ドル。拡大か。

円の▲6万枚は、2月以来の水準。ただ、週末にかけ円が買われる展開となった。同様にユーロも大きく売られたが、週末にかけて買われた。ユーロの底堅さはどこまで続くか。



各国金利動向

先週は加BOCから政策金利が発表され、予想とおり4.25%で据え置きが決まった。加ドルは、対円では週末にかけ大幅に下落、対ドルではもみあいとなっている。

今週はNZ・RBNZ政策金利が発表される。7.25%で据え置き予想。NZドル円は自律反発局面。

なお、日本の金融機関では、利上げを受け、金利が上がっている。住宅ローンは負担増。都銀の預金金利は0.1%に。イーバンク銀行は、都銀に比べ高い0.2%。

<http://gaitame.sportswalker.net/shikin/bank/>